

2024  
秋号  
Number. 53

# ゆすまいる

ゆすはらの smile さがし



～ 龍馬脱藩マラソン横断幕づくり ～  
in 四万川宅老

## もくじ

1. ふだんのくらしのしあわせを学ぼう
2. フードドライブご協力ください
3. 防災シリーズ第3回「今からやろう自分と家族と地域の備え」
4. 輝く梶原人！み～つけたっ！
5. 講演会とポッチャ体験会 ～ ふれあいのわ～
6. 薬の飲み忘れありませんか？

お知らせ

福祉サービスの困りごとについて/YURURIゆすはら職員紹介



梶原町社会福祉協議会  
LINE公式  
お友だち登録お願いします！

登録は  
こちら



# いだんのくらしのしあわせを 学ぼう！

## 梶原高校3年生 自分たちが今からできる 地域福祉



今年度は1年を通して梶原高校3年生が【梶原町の福祉を学ぶ】をテーマに、総合的な学習『YELL』の時間を活用し、地域福祉について学んでいます。

まずは、活動に向けて自分の強みについて理解し、身近である『学校』について自分たちの思う課題や要望を検討しました。解決に向けての方法は、タブレットを使いアンケート調査を行い集計をすることや生徒会へ掛け合うなど様々な方法が出されました。

実践では課題解決までは至りませんでした。具体的な計画が必要であることや、チームの役割分担の大切さを学ぶことができました。

次は集いの場を運営する方や個人宅へ訪問し、実際の地域での困りごとの情報収集を行いました。事前に傾聴学習を行い、相手の話の聴き方や話を広げること意識して取り組みました。地域からは【ボランティア減少と参加者の高齢化】という課題が見え、自分たちが今地域でできることは何か検討を行い、「少しでも今ある集いが盛り上がりゃいいな〜。」と『えくぼ（東区宅老）』と『にここ喫茶』へ、レクリエーションと運営のお手伝いボランティアをすることにしました。



実践当日は夏休みを使って、ボランティア活動を行い、コーヒーをお客さんに出したり、考案したレクリエーションを地域の方と楽しみました。

高校生からは「こういった機会が今までなかった。今日の経験を大人になって活かしていきたい。」と参加された方に伝えました。

『えくぼ』 レクリエーションの様子



『にここ喫茶』 ボランティア活動



活動の振り返りでは、実践でボランティアの方から聞き取れた「認知症や高齢になっても安心して暮らし、集いに気軽に参加できる地域にしたい。」との思いから、高校生が今から出来ることは何かと考え、次回の学習は認知症サポーター養成講座を受講し、梶原町の福祉についてさらに学習を深めていく予定です。

地域や学校での  
福祉学習プログラム集が  
できました！！



こんなときに、プログラム集が活躍します！

部落代表さん



地域で防災学習をやってみようか  
と思っているけど、どんな内容が  
いいだろう・・・？

集いの場  
リーダーさん



私たちの集いの参加者で  
「認知症」理解を深めたいな〜。

などなど

講師の紹介や学びたい内容に沿ったプログラムと一緒に  
検討し、当日の学習のお手伝いをいたします！  
ぜひ、気軽にお問い合わせください！

# フードドライブ

ご協力ください



芸術祭にてブースを  
出展します！

寄付できる食品があれば  
★ご持参ください

日時 10月20日 日

場所 10:00~15:00

地域活力センター 夢・未来館



## フードドライブって？

家庭で眠っている未使用や未開封の食品を持ち寄り、必要な団体や経済的に困窮している方などに寄付する活動です。

様々な理由で食事に不自由している団体や個人、家庭への支援に活用させていただきます。



## キャンペーン期間

10月1日～11月30日

### 寄付いただきたいもの

常温で保存  
できるもの

未開封の  
もの

賞味期限が  
1ヶ月以上  
あるもの

(例) 缶詰・乾麺・パスタ・インスタント食品

レトルト食品・調味料(砂糖・塩・醤油)

※本事業の活用について、まずは気軽にご相談ください。 担当:前田

# 今からやろう 自分と家族と地域 の備え



防災シリーズ 第3回



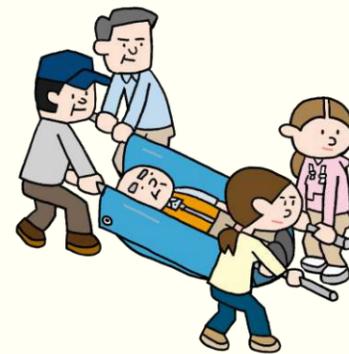
日ごろから災害に遭遇した時のために備えておくことで、被害の軽減につながります。いざという時に慌てず適切な行動ができるように、現在の自分の振り返りも含めチェックしてみましょう。

## 南海トラフ地震に向け備えは十分である。



- 地域で連絡網やLINE(ライン)の作成において連絡手段の確保ができています。
- 平時より地域住民同士で気にかけてあっている。
- 住民になにかあった場合に別居の家族、親戚の連絡先を知っている。

- 年に1回以上防災勉強会を開催している。  
例えば: 災害ボランティアセンター模擬訓練  
煙体験、応急手当訓練、心肺蘇生法訓練  
担架救護訓練など……
- 地域の状況をハザードマップで確認したことがある。
- 座談会などを行い地域の不安なことを話し合っている。
- 住民の避難行動についてある程度把握している。
- 防災避難訓練には積極的に参加している。
- 地域住民と協力して防災活動に取り組むことができる。



防災シリーズとして、「自分」「家族」「地域」の備えについて掲載してきました。

いつ起こるか分からない災害に備え、防災勉強会や訓練等を行い、みんなで防災意識を高めていきましょう！

災害ボランティアセンター運営模擬訓練は、全地区で進めていく予定です。



# 輝く梶原人！み～つけたっ👁️！

in 東区



地域おこし協力隊員としてR6年6月より、ゆすはらキャンプ場の運営サポートをされている瀧本さんの意外な人物像や仕事への想いをご紹介します。



▲名古屋での交流会  
注：恥ずかしがり屋が多いため、サングラスで隠してます(笑)

## 瀧本憲一郎さん(35) S63.10月生

香川県出身で3人姉弟の真ん中として育つ。独身。高知大学に通った後、香川県や福岡県、岡山県で会社員生活を送っていたが、縁あって地域おこし協力隊の声がかり、そこから梶原町を知って移住を決意する。

### 実はかなりのインドア派！

キャンプやアウトドアは関心はあるけど趣味というほどではないんです。

香川にいる時から、ネットゲームをやっているSNSで呼びかけて(ネット上で)チームを作りました。リーダーとしてチームのまとめ役でしたので日本各地に友達ができました。

「こっちは晴れてるけど、そっちは雨大丈夫？」とかそんな会話をしたり、交流会を企画したり。どの辺が距離的に集まり易いかなって皆と話していたら、日本の真ん中が良いってなって名古屋になりました(笑)

百人程のチームだったので、ゲームのPlay動画を仲間達と共有したくなって、そこから動画編集も始めました。ゲームが楽しいというより『ゲームを“皆とやる”のが楽しい』って感じですね。



仲間づくりから始まったSNS活用や動画編集が今の仕事につながっている

▲事務所での仕事風景

## 梶原ならではの距離感

梶原町って、道ですれ違う人もお店で会う人も皆さん知り合いの方が多いですよ。いつも挨拶したりされてたりする距離感を見て「そうだよな～、梶原町ってこうだよな～」ってその時、改めて山間の町に来た事を実感しました(笑) 都会ではこんな事ないですからね。

会社員の時は、飲み会とかには参加しないキャラでした。あんまり飲み会での交流に魅力を感じていなかったからかなあ。

今は、一斉清掃や地域の飲み会に参加して梶原の事を色々教えてもらっています。(こうした集いに)参加しないという事もできるんですが、距離が近くて良い事やそうでない事も全部ひっくるめて、この距離感には魅力を感じています…順応性は高い方なんで(笑)

## 梶原の埋もれている魅力を発信したい

林業や観光業とあって、職人的な技術があったり、ある程度ノウハウが確立している面があります。でもキャンプ場の運営って、そういう面がないから『僕ができる事』って何なのかって事を常に考えています。

この間、町内の土佐打刃物店について(町外から)問い合わせがありました。実はこうしたお店の情報って、町外にPRできる梶原の魅力なんです。そんな『あまり知られていない梶原の魅力』を見つけてネットで発信し、梶原を盛り上げていく事が今僕にできる事かなと思っています。

# 講演会とボッチャ体験会



ふれあいのわでは、7月14日(日)にゆすはら・夢・未来館にて講演会を開催しました。身障連の事業として初めての試みでしたが、総勢19名の方が参加。講師には高知ボッチャ倶楽部の坂本順一さんをお招きし、障害に対する葛藤やパラスポーツへの思いについてご講演いただきました。講演会後にはボッチャ体験会を行い、高知ボッチャ倶楽部の方からアドバイスをいただいたり、お互いを称え合う場面もあり和気あいあいとした雰囲気で行われました。



## ～参加者の声～

坂本さんのお話を聞いて自分自身も考えなおすことができました。



要約筆記ありがとうございます。スポーツは非常に奥が深いことを知り、感激しました。



自分以外の障害を知ることができて勉強になった。



大変な病気をしているのに前向きでボッチャを頑張っていることに感動しました。身障連だけでなく、もっと多くの方に聞いていただきたいかったです。



## 生活福祉資金貸付制度 (教育支援資金)

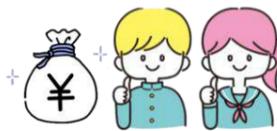
資金のことで進学を悩んでいませんか？

教育支援資金は、高校や大学、専門学校などの入学に必要な費用を貸し出し、就学や将来の就労を支援する制度です。

貸付の条件は、**他制度優先**となっております。他の公的資金貸付制度が利用可能な場合は、そちらが優先となりますことをご了承ください。

### 1. 就学支度費

高校や大学の入学にあたり、学校に納める入学金や制服等の費用を支援します。



※貸付できる額：50万円以内  
据置期間：卒業後6ヶ月以内  
償還期間：据置期間経過後20年以内

### 2. 教育支援費

高校や大学等に支払う授業料や教科書代、実習費用などを支援します。



※貸付できる額  
〈高等学校〉 月額35,000円以内  
〈高等専門学校〉 月額60,000円以内  
〈短期大学〉 月額60,000円以内  
〈大学〉 月額65,000円以内

### その他奨学金、介護福祉士・社会福祉士修学資金など

福祉に関わる仕事がしたい！



給付型奨学金や授業料等減免を受けられる場合があります。介護福祉士・社会福祉士修学資金等貸付は、指定養成施設に在学し、介護福祉士又は社会福祉士を目指す方に貸付する事業です。これら支援制度は、返済不要あるいは条件により返済が免除になります。

審査に時間がかかる場合があります。お急ぎの場合はお早めにご相談下さい。 担当:前田

## 福祉サービスで悩んだり、困ったりしていることはありませんか？



各種社会福祉施設（老人ホームや就労継続支援事業所、保育所等）やホームヘルプサービスといった福祉サービス利用における疑問や悩み等の困りごとは、その事業者との話し合いで解決が望めます。

しかし、話し合いだけでは解決しなかったり、直接話すことに少し抵抗を感じたりする場合もあると思います。

そのような時には「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。秘密厳守で対応させていただきます。

相談は無料で、受付は年末年始を除いた平日の午前9時から午後4時までです。

〒780-8567 高知市朝倉戊375-1

高知県立ふくし交流プラザ

高知県運営適正化委員会（福祉サービス困りごと解決委員会）

TEL：088-802-2611 FAX：088-844-9443

E-MAIL：[kaiketsu@pippikochi.or.jp](mailto:kaiketsu@pippikochi.or.jp) (FAX・メールは24時間受付)

### YURURIゆすはら職員紹介

やすい まゆ  
安井 真有



以前はグループホームに勤めていました。ケアハウスは初めてなので、頑張ります。

たまがわ みすず  
玉川 美鈴



歳はいってますが（笑）新人として頑張りますので、よろしくお願いします。